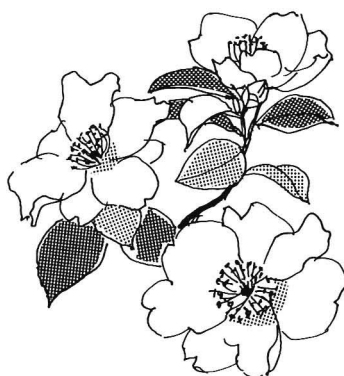


■編集後記■

北京でのアジア大会も終了し、次期大会は広島に決まった。それにしても、中国の金メダルの獲得数は驚異的であった。中国選手の筋はあたかも金線維で構成されているかの如くである。スポーツで成功するには種々の要素を必要とするが、傷害・障害の予防とその治療もたいせつな部分である。

さて、本ジャーナルが改題される前の『理学療法と作業療法』第20巻第9号で「スポーツ医学」を特集した。今回の特集は整形外科であるが、スポーツ傷害を中心に各氏に執筆願った。松本氏他には「投球動作による肩障害；分析および診断と治療」について執筆願った。科学的投球動作の分析に基づいて障害の病態を確定して、選手の意欲と投球能力とを回復させるため積極的に段階的治療を行なうことの必要性を強調されている。なお、信原病院の敷地の一角には投球分析に用いる正規のマウンドが作られていることを付記しておく。村井氏他には「膝関節の損傷に対する理学療法」について執筆願った。部位別損傷頻度でもっとも多いのは膝であり、一般病院でもこの対象者をよく見かけることから、これに対する理学療法の知識を深めていただければ幸いである。栗山氏他には「テニス肘のスポーツ医学的病態生理と運動療法を中心とした治療」を執筆願った。私自身、テニス肘を体験し、その痛みがいかにプレ



イを困難にするかを知っている。病因は複雑であり簡単には論じられないが、体験的には加齢を無視して冬季に過使用することが危険ではないかと思われる。中山氏には「足関節・足部傷害の病態生理と理学療法」について執筆願った。足底は大地との接点であり、足関節は全体重を支持し高感度センサーとしての機能を有していることを認識して治療することを強調されている。武田氏他には「疲労骨折の発生メカニズム」について執筆願った。すでに引退したマラソンの瀬古選手も中足骨の疲労骨折を経験している。最近、スポーツ傷害の理学療法に関心を示す学生がふえている。悪いことではないと思っている。

投稿は、関川君による実習レポート「脳室穿破を伴った被殻出血患者の理学療法評価」、田中氏による報告「冬期用新型ブーツおよび杖用先ゴムの試作」を掲載することができた。

皆様のご活躍を祈ります。(奈良 勲)

●編集顧問●

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長
五味 重 春
東京都立医療技術短期大学
学長
津 山 直 一
国立身体障害者リハビリテ
ーションセンター総長
横 山 巖
七沢リハビリテーション
病院脳血管センター院長
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

安 藤 徳 彦
神奈川県総合リハビリテ
ーションセンター
上 田 敏
東京大学リハビリテ
ーション部
鶴 見 隆 正
高知医科大学附属病院
奈 良 勲
金沢大学医療技術短期大学部
福 屋 靖 子
筑波大学
松 村 秩
東京都立医療技術短期大学
吉 尾 雅 春
協和会病院

●編集同人●

伊 藤 日出男
今 川 忠 男
宇都宮 初 夫
大喜多 潤
大 田 近 雄
大 峯 三 郎
金 子 誠 喜
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
高 田 京 子
高 橋 正 明
田 口 順 子
武 富 由 雄
寺 山 久美子
富 岡 詔 子
橋 元 隆
半 田 健 壽
藤 沢 しげ子
前 田 哲 男
牧 田 光 代
松 沢 博
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
矢 谷 令 子
山 下 隆 昭
米 田 睦 男

理学療法ジャーナル

(第24巻 第11号)

1990年11月15日発行(毎月1回15日発行)

1部定価 1,391円(本体1,350円)

(配送料61円)

年ぎめ予約購読料 15,960円
(本体15,495円)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内(03)817-5600

本誌編集室直通(03)817-5703

(担当：渡邊・細田)

販売部直通(03)817-5659・5660

広告室直通(03)817-5696

ファクシミリ(03)815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話(03)637-0005

広告申込所 (株)医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1990, Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。